

第 10 章	地理(1 年)	高校入試過去問題	日本の地域	1330
			日本の諸地域	

[問題 1] (茨城 2022 年 2 月)

日本や身近な地域について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

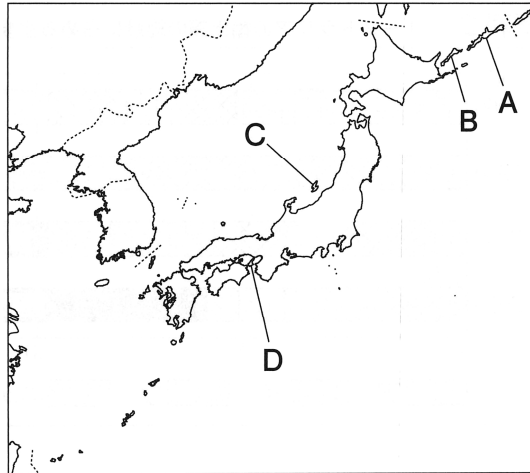
- (1) 資料 4 は、資料 5 の A～D を含む日本の主な島の面積を示したものである。B の島を、下のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

資料 4 日本の主な島の面積

島	面積(km ²)
A	3167
B	1489
沖縄島	1209
C	855
大島 (あま み おおしま 奄美大島)	712
対馬	696
D	593

〔「日本国勢図会」2021/22 年版より作成〕

資料 5



ア 国後島

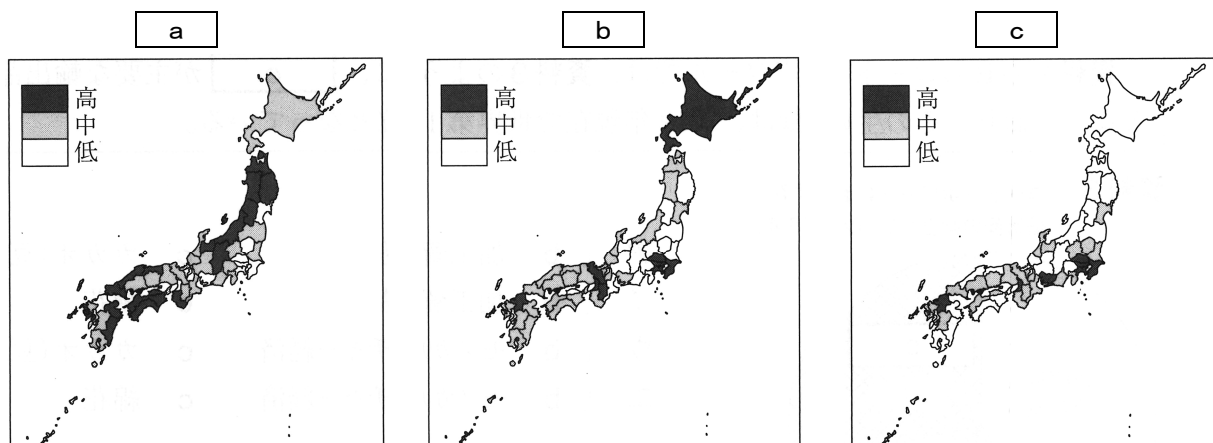
イ 択捉島

ウ 淡路島

エ 佐渡島

(2) 資料6は、日本の人口に関する三つの主題図（テーマをもとに作られた図）である。資料6の a ～ c には、老年人口の割合（全人口に占める65歳以上人口の割合）、人口密度、第三次産業就業者の割合（全就業者に占める第三次産業就業者の割合）のいずれかが当てはまる。a ～ c の組み合わせとして適切なものを、下のア～カの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

資料6 日本の人口に関する三つの主題図(2017年)



注) 資料6の各主題の
高中低の内訳は右の
表のとおりとする。

	老年人口の割合	人口密度(1km ² 当たり)	第三次産業就業者の割合
高	31%以上	1000人以上	74%以上
中	28%以上 31%未満	190人以上 1000人未満	65%以上 74%未満
低	28%未満	190人未満	65%未満

〔「データでみる県勢」2019, 2021年版より作成〕

- ア [a 第三次産業就業者の割合 b 老年人口の割合 c 人口密度]
- イ [a 第三次産業就業者の割合 b 人口密度 c 老年人口の割合]
- ウ [a 人口密度 b 老年人口の割合 c 第三次産業就業者の割合]
- エ [a 人口密度 b 第三次産業就業者の割合 c 老年人口の割合]
- オ [a 老年人口の割合 b 人口密度 c 第三次産業就業者の割合]
- カ [a 老年人口の割合 b 第三次産業就業者の割合 c 人口密度]

- (3) 資料7は、近畿地方の2府5県についてまとめたものである。三重県に当てはまるものを、資料7のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。また、三重県の県庁所在地名を下のオ～クの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

資料7 近畿地方の2府5県のデータ(2018年)

府県	人口密度 (人/km ²)	産出額			製造品 出荷額 (億円)	重要文化財 指定件数 (件)
		農業 (億円)	林業 (億円)	漁業(海面) (億円)		
ア	197.8	1158	40	127	27549	395
イ	4625.5	332	4	46	179052	682
ウ	561.7	704	24	39	59924	2199
エ	310.2	1113	51	446	112597	188
奈良県	362.8	407	29	—	21998	1327
滋賀県	351.6	641	11	—	81024	825
兵庫県	652.8	1544	38	523	166391	470

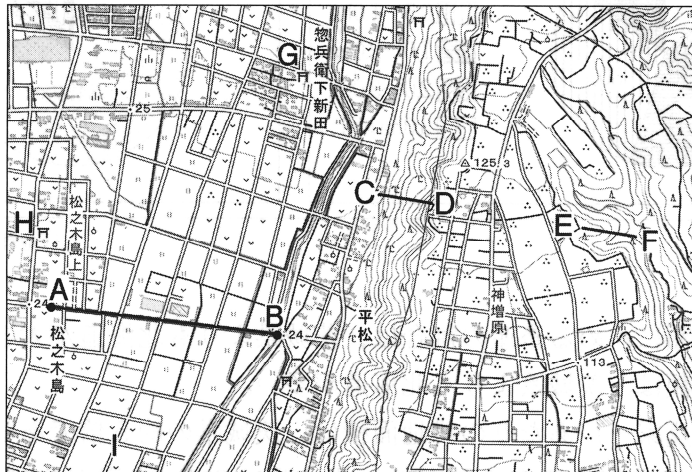
注) 重要文化財指定件数については、2021年8月1日時点のものである。

〔「データでみる県勢」2021年版、文化庁資料より作成〕

オ 大津市 カ 四日市市 キ 津市 ク 松山市

- (4) 資料8はある地域の地形図である。資料8から読み取れるものとして適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

資料8

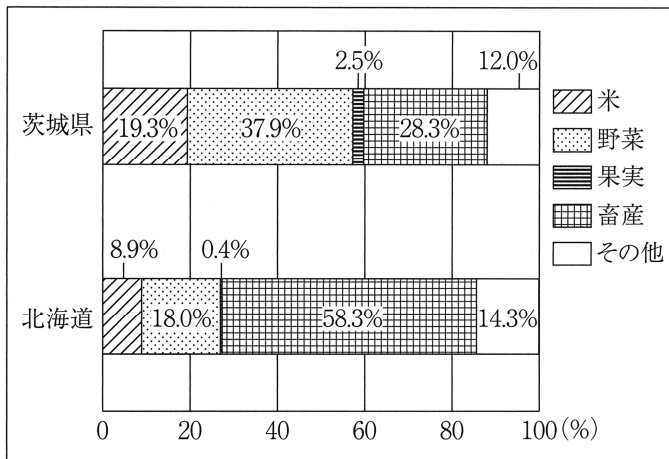


〔国土地理院発行2万5千分の1地形図「笠井」より作成〕

- ア 地形図上のA地点からB地点までの長さを約3cmとすると、実際の距離は約750mである。
 イ C-D間とE-F間では、E-F間の方が、傾斜が急である。
 ウ G付近の神社から見てH付近の神社は南西の方角にある。
 エ I付近には畑が見られる。

(5) 資料 9～資料 12 は、茨城県と北海道の農業を比較したものである。これらの資料から読み取れるものとして**適切でないもの**を、下のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

資料 9 茨城県と北海道の農業産出額に占める農産物の割合(2018 年)



注) 割合は四捨五入しているので、合計が 100%にならない場合がある。
〔「データでみる県勢」2021 年版より作成〕

資料 10 茨城県と北海道の耕地面積と農家戸数(2015 年)

	耕地面積 (ha)	農家戸数 (戸)
茨城	170900	57239
北海	1147000	38086

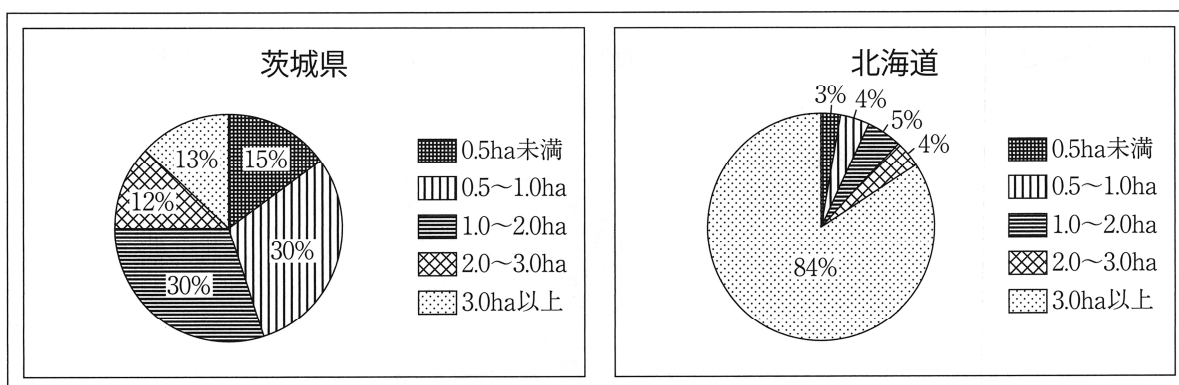
〔「データでみる県勢」2017 年版より作成〕

資料 11 農業産出額の順位(2018 年)
(単位：億円)

	農業産出額	
1 位	北海道	12593
2 位	鹿児島県	4863
3 位	茨城県	4508
4 位	千葉県	4259
5 位	宮崎県	3429

〔「データでみる県勢」2021 年版より作成〕

資料 12 茨城県と北海道の耕地面積規模別の農家の割合(2015 年)



〔「地理統計要覧」2021 年版より作成〕

- ア 農業産出額に占める畜産の割合は、茨城県よりも北海道が大きい。
 イ 米の産出額は、茨城県よりも北海道が多い。
 ウ 北海道の農家一戸あたりの耕地面積は、茨城県の約 5 倍である。
 エ 耕地面積規模別の農家の割合は、茨城県は 3.0ha 未満が 8 割以上を占め、北海道は 3.0ha 以上が 8 割以上を占める。

[解答欄]

(1)	ア	
(2)	カ	
(3)	三重県	エ
	県庁所在地名	キ
(4)	イ	
(5)	ウ	

[解説]

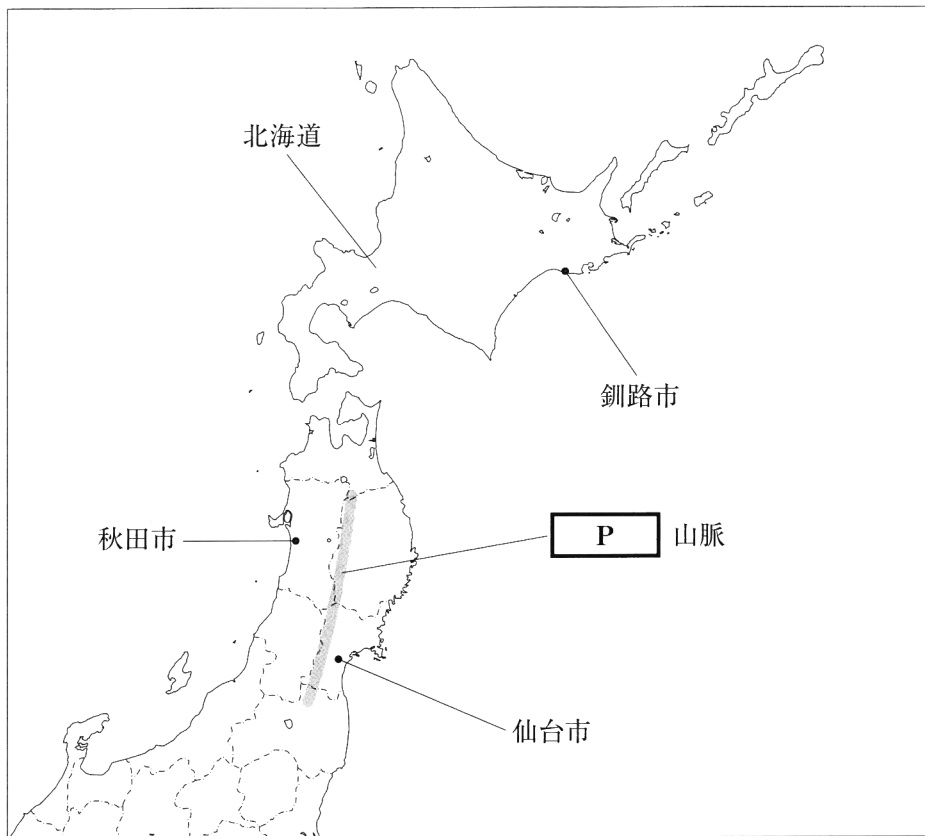
(3) 近畿地方の2府5県のうち、資料7に県名が示されている3つの県以外は、大阪府・京都府・和歌山県・三重県である。このうち、人口密度が最も高く製造品出荷額も多いイは、西日本の中心都市で人口が多い大阪市があり、阪神工業地帯に属する大阪府。重要文化財件数が最も多いウは、かつて都が置かれた京都市がある京都府。製造品出荷額が3番目に多く漁業産出額が2番目に多いエは、県北部が中京工業地帯に属し志摩半島などでの養殖業がさかんな三重県。人口密度が最も低いアは和歌山県である。よって、エが正解。また三重県の県庁所在地はキの津市。

(5) 農業産出額に占める畜産の割合は、資料9より茨城県は28.3%、北海道は58.3%、よってアは適切である。
 米の産出額は、資料9と資料11より茨城県は $4508(\text{億円}) \times 0.193 = 870.0\cdots(\text{億円})$ 、北海道は $12593(\text{億円}) \times 0.089 = 1120.7\cdots(\text{億円})$ 、よってイは適切である。
 農家一戸あたりの耕地面積は、資料10より茨城県は $170900(\text{ha}) \div 57239(\text{戸}) = 2.9\cdots(\text{戸})$ 、北海道は $1147000(\text{ha}) \div 38086(\text{戸}) = 30.1\cdots(\text{戸})$ 、となることから、北海道は茨城県の10倍となる。
 よって、ウは適切でない。
 耕地面積規模別の農家の割合は、資料12より茨城県は3.0ha未満の合計は87%、北海道は3.0ha以上は84%、よってエは適切である。したがって、ウが正解。

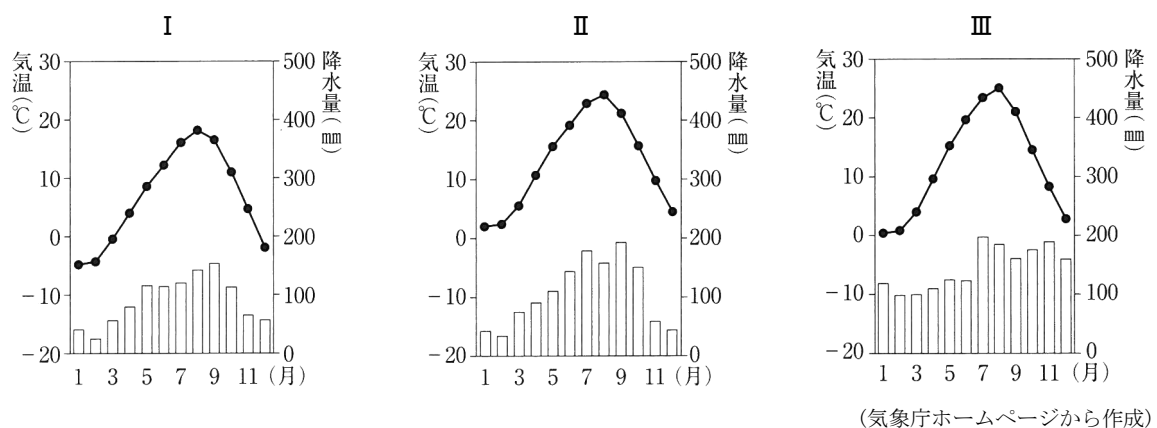
[問題 2] (埼玉 2022 年 2 月)

Nさんは、地理的分野の授業で日本の諸地域を学習したあと、**地図 1**を作成しました。**地図 1**をみて、**問 1**～**問 4**に答えなさい。

地図 1



問 1 Nさんは、**地図 1**中の釧路市、秋田市、仙台市の三つの都市の気温と降水量を調べ、次のⅠ～Ⅲのグラフをつくりました。Ⅰ～Ⅲのグラフと都市の組み合わせとして正しいものを、下のア～カの中から一つ選び、その記号を書きなさい。



ア	I－釧路市	II－秋田市	III－仙台市
イ	I－釧路市	II－仙台市	III－秋田市
ウ	I－秋田市	II－釧路市	III－仙台市
エ	I－秋田市	II－仙台市	III－釧路市
オ	I－仙台市	II－釧路市	III－秋田市
カ	I－仙台市	II－秋田市	III－釧路市

問2 Nさんは、東北地方について調べ、次のようにまとめました。まとめを読み、下の(1)と(2)の問いに答えなさい。

まとめ

東北地方は本州の北部に位置し、中央に P 山脈がはしり、日本海側に出羽山地などが、太平洋側に北上高地などがあります。

山地からは大きな川が流れ出し、下流には平野などが広がり、山地の間には盆地などがみられます。東北地方では、これらの平野や盆地に人口が集中し、おもに平野で稲作が、盆地で果樹栽培がそれぞれさかんです。また、三陸海岸の沖合いは、たくさんの魚が集まる豊かな漁場となっています。

(1) 地図1とまとめの中の P にあてはまる語を書きなさい。

(2) まとめの中の下線部に関連して、次の表は、東北地方の各県の、2018年における人口、農業産出額、漁業生産量について、各県を人口の多い順に並べたものです。表中のX～Zには岩手県、宮城県、秋田県のいずれかがあてはまり、aとbには米と果実のいずれかがあてはまります。Xとaの組み合わせとして正しいものを、下のア～カの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

表

	人口 (千人)	農業産出額 (億円)			漁業生産量 (t)
			a	b	
X	2316	1939	26	818	266530
福島県	1864	2113	255	798	51398
青森県	1263	3222	828	553	179515
Y	1241	2727	126	582	127794
山形県	1090	2480	709	835	4308
Z	981	1843	72	1036	6709

(データでみる県勢 2021 年版などから作成)

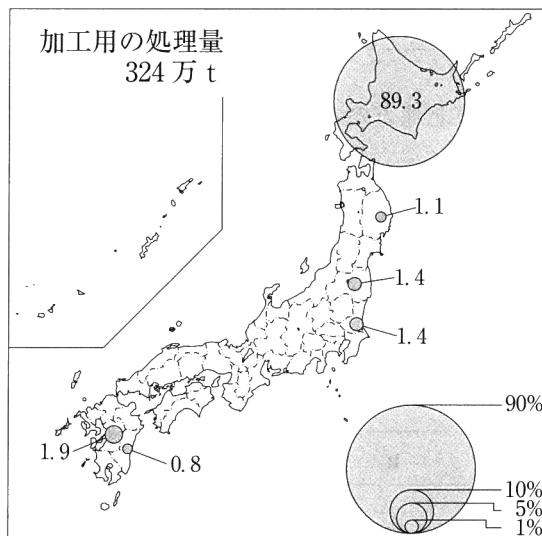
ア	X－岩手県	a－米	イ	X－岩手県	a－果実
ウ	X－宮城県	a－米	エ	X－宮城県	a－果実
オ	X－秋田県	a－米	カ	X－秋田県	a－果実

問3 次は、地図1中の北海道に関連して、日本の産業の特色について学習する授業における、先生とNさんの会話です。会話文中の **Q** と **R** にあてはまることばをそれぞれ書きなさい。

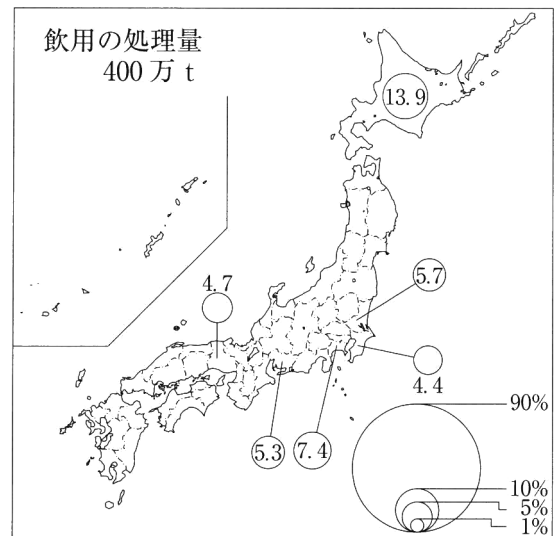
Nさん：北海道では、牧草などの飼料を生産しながら、乳牛を飼育する酪農がさかんであることを学習しました。

先生：そうですね。北海道を中心に各地で飼育されている乳牛からしぼり出された生乳は、乳製品などの加工用、または牛乳などの飲用として処理されています。次の地図2と地図3からは、それぞれどのようなことが読みとれますか。

地図2 2018年における加工用の処理量と全国に占める都道府県別の割合(上位6道県)



地図3 2018年における飲用の処理量と全国に占める都道府県別の割合(上位6道県)



(農林水産省ホームページから作成)

Nさん：はい。地図2から、加工用の処理量は、北海道の割合がとても高いことが読みとれます。乳製品などは、おもに北海道の工場で生産されているということですね。

先生：そのとおりです。では、地図3からは、どのようなことが読みとれますか。

Nさん：はい。地図3から、飲用の処理量も、加工用の処理量ほどではないですが、北海道の割合が最も高いことが読みとれます。さらに、北海道を除く上位5県の位置に着目すると、それらの県は **Q** という共通した特色が読みとれます。

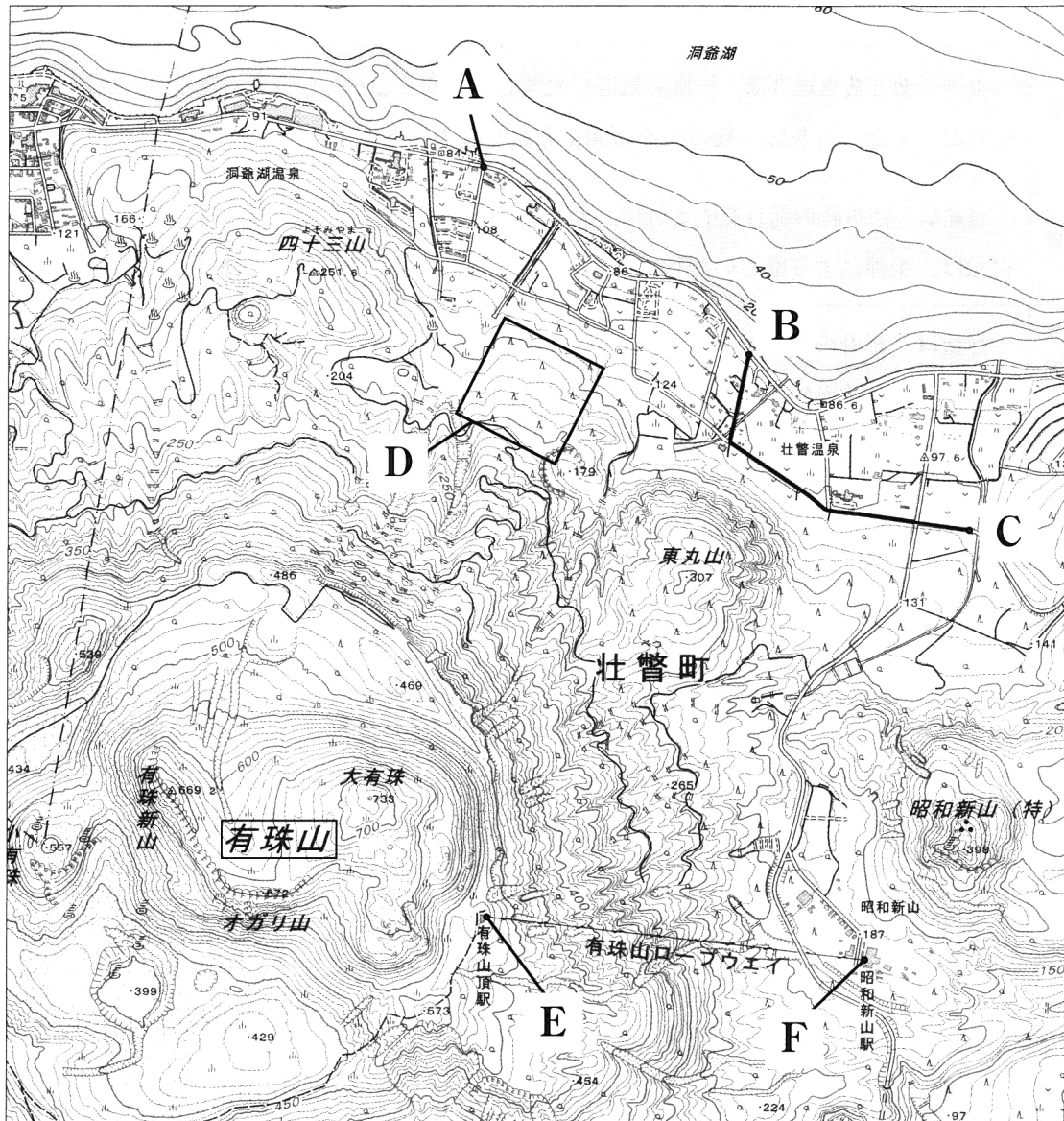
先生：よく読みとれました。では、そのような共通した特色となる理由を説明できますか。

Nさん：はい。牛乳などの飲用は、乳製品などの加工用に比べて、**R** ため、工場で処理して出荷されてからできるだけ早く消費者に届けられる必要があります。よって、牛乳などは、おもに **Q** ところの工場で生産されている傾向があると考えられます。

先生：そのとおりです。このように日本の産業は、各地との結びつきで成り立っていることがわかりますね。

問4 次の地図4は、地図1中の北海道の一部を示した2万5千分の1の地形図です。地図4から読みとれる内容を述べた文として下線部が正しいものを、下のア～オの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

地図4



(国土地理院2万5千分の1地形図「洞爺湖温泉」平成27年発行一部改変)

- ア A地点からB地点まで最短の道のりで移動する途中、進行方向左側に洞爺湖がある。
- イ B地点からみると、有珠山は、およそ南東の方向にある。
- ウ B地点からC地点までの道のりは、地図上で約5cmであり、実際の道のりは約1250mである。
- エ Dの範囲内には、広葉樹林がみられる。
- オ E地点の有珠山頂駅の標高とF地点の昭和新山駅の標高の差は、300m以上である。

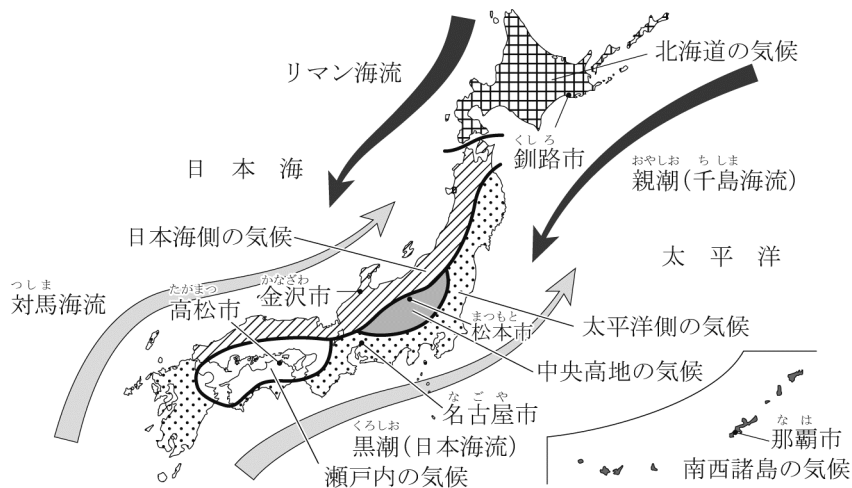
[解答欄]

問 1	イ	
問 2	(1)	奥羽 山脈
	(2)	エ
問 3	Q	(例) 大消費地に近い
	R	(例) 新鮮さが求められる
問 4	ア, ウ, オ	

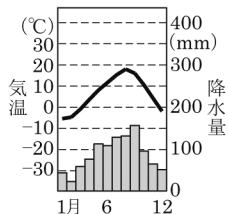
[解説]

問 1 I は、1 月の平均気温が -5°C 前後となる北海道の気候で、釧路市のグラフ。II は、夏に降水量の多い太平洋側の気候で、仙台市のグラフ。III は、冬の降水量が多い日本海側の気候で、秋田市のグラフ。

ポイント▶ 日本の気候の特徴を覚えよう & 気温と降水量を地域別に見ていこう！



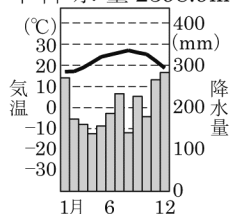
北海道の気候
年平均気温 6.2°C
年降水量 1042.9mm



6月に雨が少ない
＝梅雨がない！



日本海側の気候
年平均気温 14.6°C
年降水量 2398.9mm

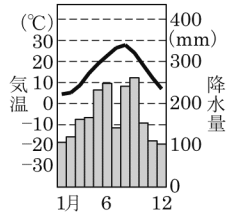


冬に降水量が多い！
降水量のグラフは
バンザイしている形！



太平洋側の気候

年平均気温 15.8℃
年降水量 1535.3mm

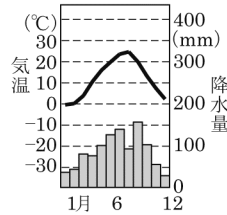


夏に降水量が多い！
降水量のグラフは
手を合わせている形！

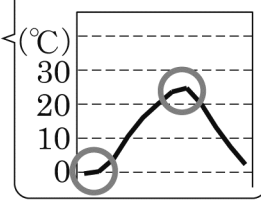


中央高地の気候

年平均気温 11.8℃
年降水量 1031.0mm

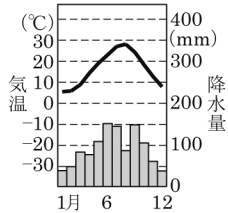


寒暖の差が大きい！
冬はマイナス！

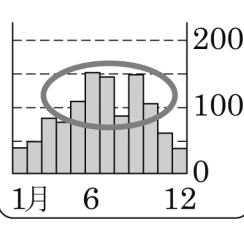


瀬戸内の気候

年平均気温 16.3℃
年降水量 1082.3mm

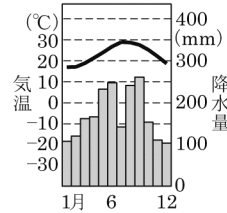


降水量が少ない！

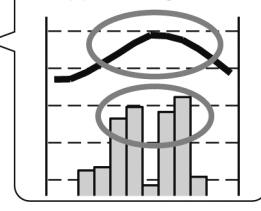


南西諸島の気候

年平均気温 23.1℃
年降水量 2040.8mm



気温が高く
降水量が多い



問2 (2) X～Zは、岩手県、秋田県、宮城県のいずれかである。表の各項目から、一番大きい数値をヒントに考えよう。

東北地方で、人口が最も多いのは、宮城県である。そのため、Xは宮城県。りんごの生産量が日本一である青森県は、農業産出額のうち果実が多くなる。

そのため、aは果実となる。ゆえにbは米となり、米の生産額が最も多いZが秋田県。

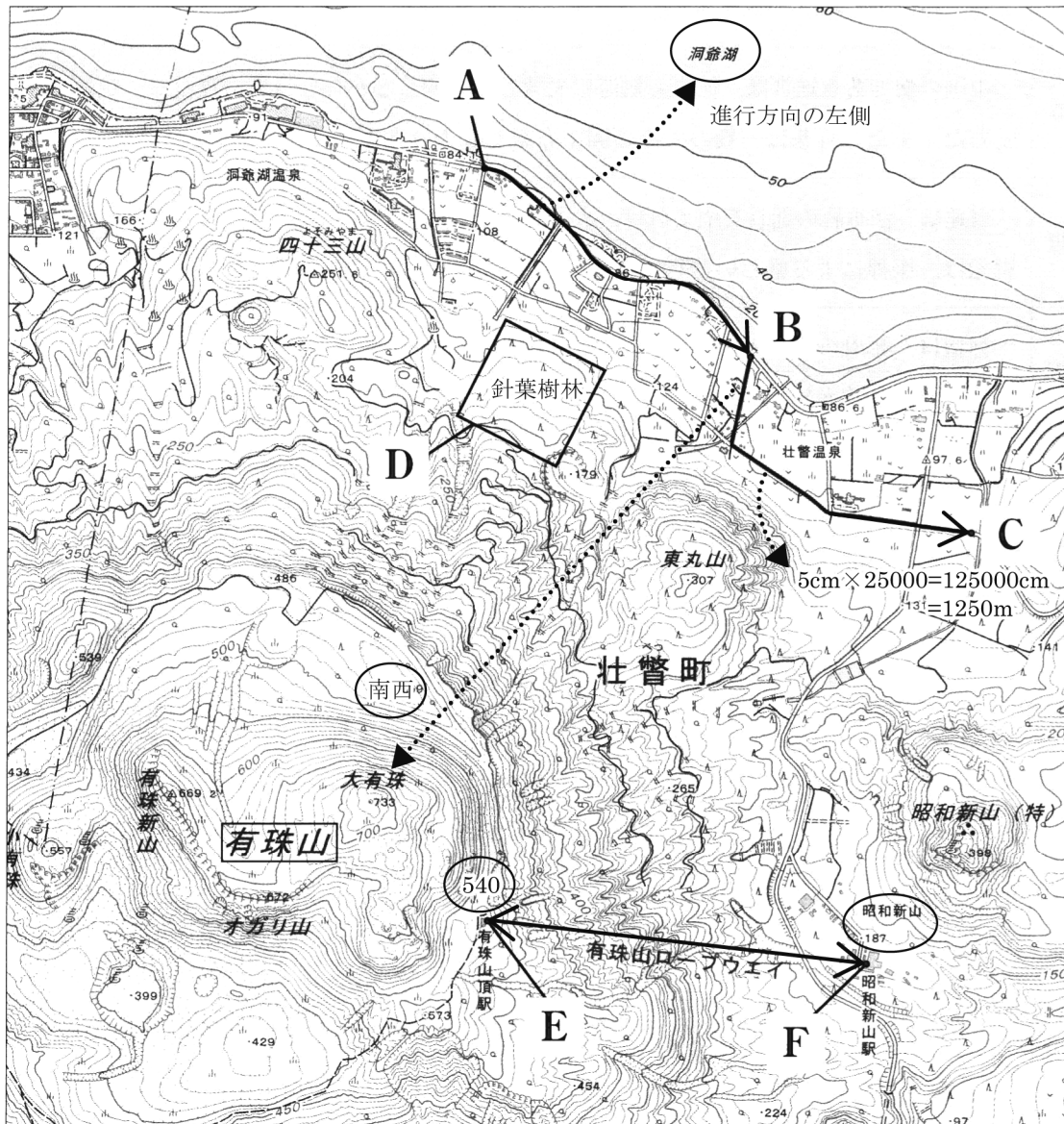
残ったYが岩手県となる。

問3 地図2を見ると、加工用の処理量は、北海道の割合がとても高い。バターやチーズなどの乳製品は北海道の工場加工生産された後、全国へ出荷されている。これは保存ができるためであるが、**地図3**を見ると、長期保存ができない飲用の処理量の多い県は、北海道以外では茨城県、千葉県、神奈川県、愛知県、兵庫県と、いずれも大都市に近い県である。

牛乳などの飲用は、新鮮なうちにできるだけ早く消費者に届ける必要がある。

そのためQには「大都市に近い」や「大消費地に近い」という文章が、Rには「新鮮さが求められる」や「保存がきかない」などの文章が入る。

問4 地形図の読み取り問題。地形図の読み取り問題で多く問われるのは、方位、距離、地図記号、等高線についてである。選択肢の内容を、地形図で確認してみよう。



[問題 3] (秋田 2022 年 2 月)

次の地図と図、表を見て、問 1～問 4 の問いに答えなさい。

地図

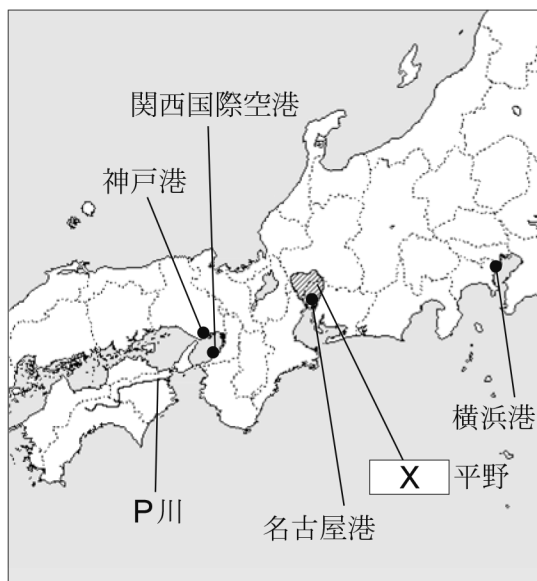
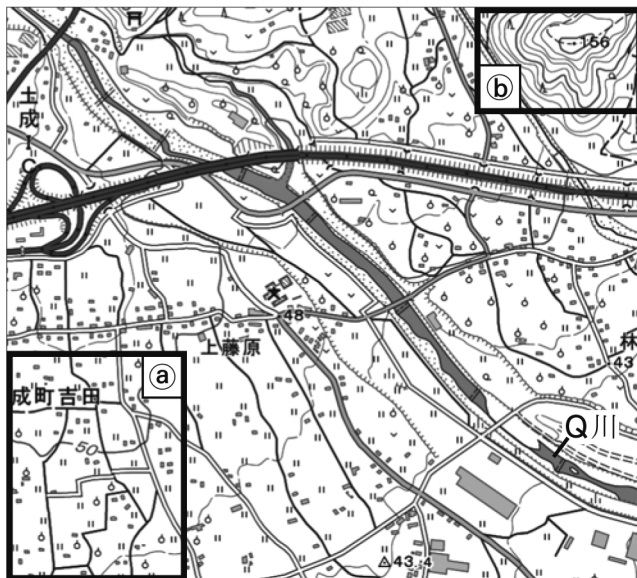


図 1



(「国土地理院電子地形図 25000」を加工して作成)

問 1 地図の にあてはまるものを、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 讃岐 イ 濃尾 ウ 越後 エ 石狩

問 2 図 1 は、地図の P 川の支流である Q 川付近の地形図の一部である。

① Q 川はどの方角からどの方角へ流れているか、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 北東から南西 イ 南東から北西 ウ 北西から南東 エ 南西から北東

② 次の文の に入る適切な内容と、 にあてはまる語を、それぞれ書きなさい。

図 1 の①の範囲は、②よりも土地の傾斜が であり、水田や が広がっている。

問 3 表 1 の㉠～㉤は、地図の四つの港湾・空港のいずれかを表している。関西国際空港を示すものを、一つ選んで記号を書きなさい。

表 1 四つの港の主な輸出品目と輸出額(2019 年)

	輸出額の上位品目	輸出額(億円)
㉠	集積回路、電気回路用品、* ¹ 科学光学機器	51 872
㉡	自動車、自動車部品、* ² 内燃機関	69 461
㉢	自動車、自動車部品、内燃機関	123 068
㉣	プラスチック、建設・鉱山用機械、内燃機関	55 571

*¹カメラ、レンズ、計測機器など *²エンジン

(「日本国勢図会 2020/21 年版」などから作成)

問4 国内輸送に関する問題である。

- ① 表2のA～Dは、鉄道、自動車、船舶、航空のいずれかの輸送機関を表している。Bにあてはまる輸送機関を書きなさい。

表2 国内の*旅客輸送量の輸送機関別割合(%)

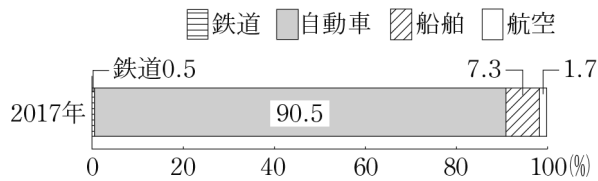
	A	B	C	D
1965年	31.6	66.7	0.8	0.9
2017年	62.8	30.4	6.6	0.2

*輸送時の人数に輸送距離をかけたもの

(「日本国勢図会 2020/21年版」などから作成)

- ② 図2と図3から読みとれる貨物輸送の特色を、解答欄にしたがって書きなさい。

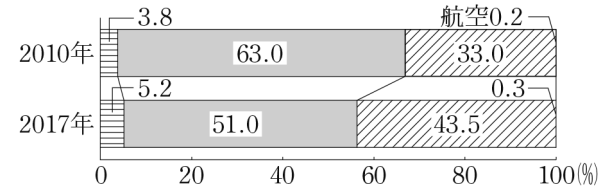
図2 国内の*¹貨物輸送量に対する*²エネルギー消費量の割合



*¹ 輸送時の重量に輸送距離をかけたもの

*² 使用したエネルギー（石油、石炭など）を熱量で表したもの

図3 国内の貨物輸送量の割合の変化



※図3の凡例は図2に同じ。

(図2, 図3は「日本国勢図会 2020/21年版」などから作成)

[解答欄]

問 1	イ		
問 2	①	ウ	
	②	Y	(例) ゆるやか
		Z	(例) 果樹園
問 3	㊦		
問 4	①	鉄道	
	②	(例) 自動車は、他の輸送機関に比べてエネルギー消費量の割合が高く、貨物輸送量の割合が減っている。	

[解説]

問 2 ① Q川がP川（吉野川）の支流であることから、河口が東側にあることを考えると、西から東の方向に川は流れていると予想できる。さらに、地形図では北西と南東の対角線に川が流れているので、ウが正解。

問 3 四つの港湾・空港のうち、空港は関西国際空港のみである。そのため、軽量で高価な集積回路や電気回路用品などが輸出額の上位品目になると予想できる。よって、㊦が正解。

問 4 ①・② 国内の旅客輸送は、かつては鉄道が主流であったが、高速道路網の発達によって自動車輸送の割合が多くなっている。よって、表 2 の A は自動車、B は鉄道である。
その自動車も近年、貨物輸送量においては図 3 からわかるように割合は減っている。
その理由として、図 2 にあるように、自動車のエネルギー消費量が高いことも影響していると考えられる。

[問題 4] (神奈川 2022 年 2 月)

長野県の産業について興味をもった Kさんは、次の資料 1～資料 4 を集めた。
これらについて、あとの各問いに答えなさい。

資料 1 中部地方における県ごとの就業者数と産業別就業者数の割合 (2017 年) (就業者数の単位: 万人)

	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
就業者数	116.5	55.4	61.0	42.2	44.2	111.2	105.9	194.5	406.9
第1次産業	5.3%	2.7%	2.9%	3.5%	6.9%	8.5%	3.4%	3.3%	2.1%
第2次産業	29.7%	33.9%	28.2%	31.4%	28.3%	28.7%	32.6%	33.4%	32.7%
第3次産業	65.1%	63.4%	68.9%	65.1%	64.8%	62.7%	64.1%	63.3%	65.3%

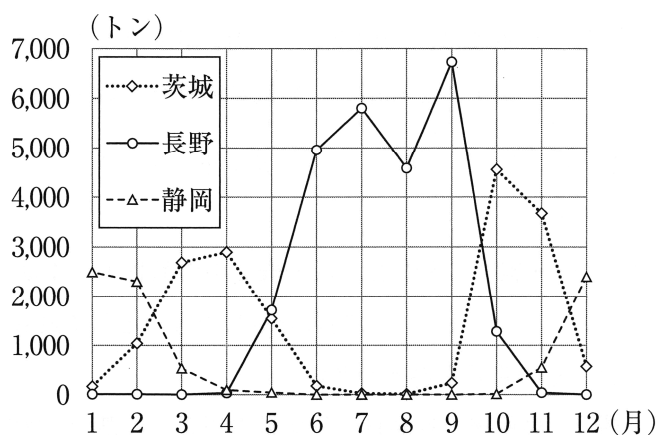
(『データでみる県勢 2020 年版』をもとに作成)

※ 小数第 2 位を四捨五入しているため、県ごとの産業別就業者数の割合の合計が 100%にならないことがある。

資料 2 長野県におけるレタス生産及び他の都道府県への出荷についての説明

- 長野県では、6 月上旬から 10 月上旬までレタスの生産がさかんです。長野県のレタスの生産量は、全国第 1 位です。
- 早朝に収穫して、その日のうちに東京・大阪・名古屋等の大都市圏に出荷します。輸送中に野菜が傷まないように、専用のトラックで運びます。

資料 3 レタスの生産量上位 3 県から東京へ出荷されるレタスの量 (2020 年)



(東京都中央卸売市場ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

資料 4 長野県白馬村における外国人観光客の延べ宿泊者数の推移 (単位: 人)

年 区分	2015	2016	2017	2018	2019
アジア	33,499	36,596	50,654	57,871	67,113
北アメリカ	7,172	6,762	9,083	16,558	21,444
ヨーロッパ	5,162	6,117	7,017	9,793	9,147
オセアニア	53,517	53,868	46,048	78,756	170,739

(白馬村ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

問 1 資料 1 に関して、次の産業の名称 X～Z のうち第 1 次産業に分類されるものと、資料 1 から読み取れることについて説明した文 a, b の組み合わせとして最も適するものを、あとの 1～6 の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

産業の名称	X サービス業	Y 建設業	Z 林業
読み取れること	a 中部地方において、第 2 次産業の就業者数が最も多いのは富山県である。 b 中部地方における第 3 次産業の就業者数は、600 万人を上回っている。		

- 1 X と a 2 X と b 3 Y と a 4 Y と b 5 Z と a 6 Z と b

問2 長野県におけるレタス生産及び他の都道府県への出荷について説明したものとして適切でないものを、資料2、資料3の内容を参考にしながら、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

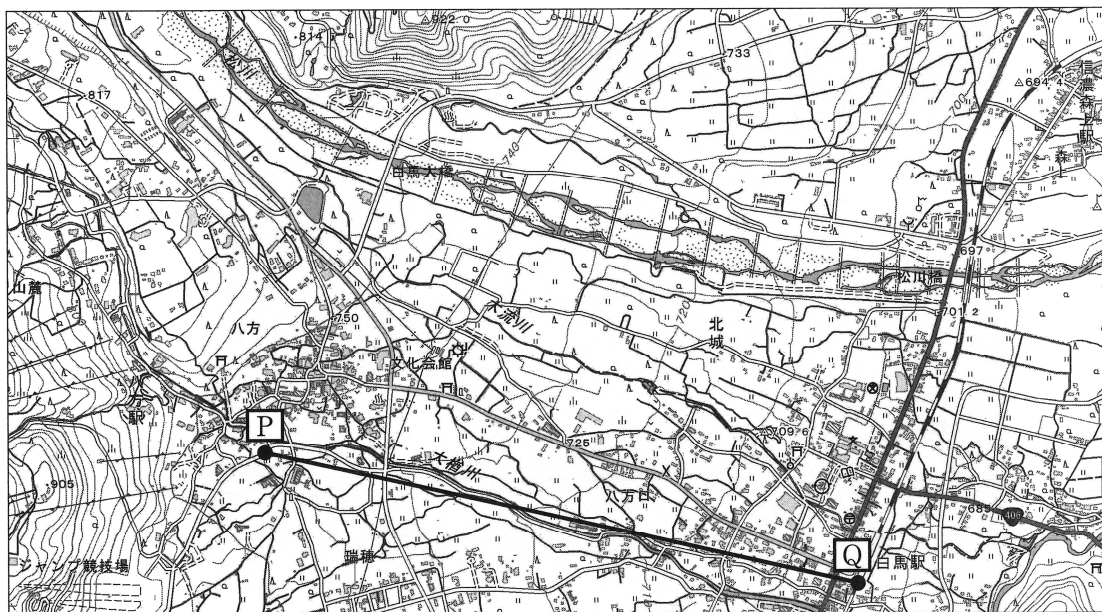
- 1 標高が高く夏でも冷涼な気候を生かすことができる地域で、レタスが生産されている。
- 2 国内の他の産地から東京へのレタスの出荷量が多くなる時期に、長野県からの出荷量も多くなる。
- 3 道路網の整備を背景として、収穫したその日のうちにレタスを大都市圏に届けられるようになった。
- 4 保冷車の普及を背景として、鮮度を保ったままレタスを大都市圏に届けられるようになった。

問3 資料4から読み取れることについて説明したものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 2015年の延べ宿泊者数の合計は、15万人を上回っている。
- 2 2015年から2019年にかけて、年ごとの延べ宿泊者数は、すべての区分で増加し続けている。
- 3 「アジア」と「オセアニア」を比べたとき、「2015年の延べ宿泊者数」に対する「2015年から2019年にかけて増加した延べ宿泊者数」の割合が高いのは、「オセアニア」である。
- 4 「北アメリカ」と「ヨーロッパ」はどちらも、「2019年の延べ宿泊者数」が「2015年の延べ宿泊者数」の2倍を上回っている。

問4 次の地形図は、長野県白馬村の一部を示したものである。この地形図から読み取れることについて説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

地形図



(「2万5千分の1の電子地形図 国土地理院作成(令和3年調製)」一部改変)

- 1 4方位で考えると、「白馬大橋」の西側には、「田」が広がっている。
- 2 8方位で考えると、「町・村役場」からみて北西の方位に「消防署」がある。
- 3 Pで示した地点の標高は、800mをこえている。
- 4 P—Qの地図上の長さが8cmであるとする、実際の距離は2kmである。

[解答欄]

問 1	6
問 2	2
問 3	3
問 4	4

[解説]

問 1 第 1 次産業とは、作物を作ったり、採取したりする産業である。農業、林業、漁業などがあてはまる。よって **Z** が正解。

第 2 次産業とは、作物や採取したものを使って加工する産業である。工業や建設業などがあてはまる。

第 3 次産業とは、第 1 次産業、第 2 次産業のどちらにもあてはまらない産業である。

商業、金融業、運輸業、情報通信業、サービス業などがあてはまる。

 **解答のヒント** 資料の読み取り問題では、「数」と「割合」のどちらが問われているかチェックしよう！

a …「第 2 次産業の就業者数」が問われているが、**資料 1**の数値は「割合」であることに注意！**資料 1**から、それぞれの県の「第 2 次産業の就業者数」を求めると、

新潟県…346,005(人)、富山県…187,806(人)、石川県…172,020(人)、福井県…132,508(人)、
山梨県…125,086(人)、長野県…319,144(人)、岐阜県…345,234(人)、静岡県…649,630(人)、
愛知県…1,330,563(人)で、最も多いのは愛知県であるので誤り。

b …同じく、「第 3 次産業の就業者数」が問われていることに注意する。

新潟県…758,415(人)、富山県…351,236(人)、石川県…420,290(人)、福井県…274,722(人)、
山梨県…286,416(人)、長野県…697,224(人)、岐阜県…678,819(人)、静岡県…1,231,185(人)、
愛知県…2,657,057(人)で、合計 7,355,364(人)なので正しい。

問 3 1 …2015 年の延べ宿泊者数の合計は 99,350 人なので誤り。

2 …北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアでは、減少している年もあるので誤り。

4 …北アメリカは約 3 倍、ヨーロッパは約 1.8 倍なので誤り。

問 4 地図上の長さ×縮尺を使って、実際の距離を求めるには、地図上の長さ×縮尺の分母＝実際の距離の式にあてはめて計算すればよい。 $8 \times 25,000 = 200,000(\text{cm})$ 、 $200,000\text{cm} = 2\text{km}$ なので **4** が正しい。

[問題 5] (石川 2022 年 2 月)

次の略地図を見て、下の各問に答えなさい。

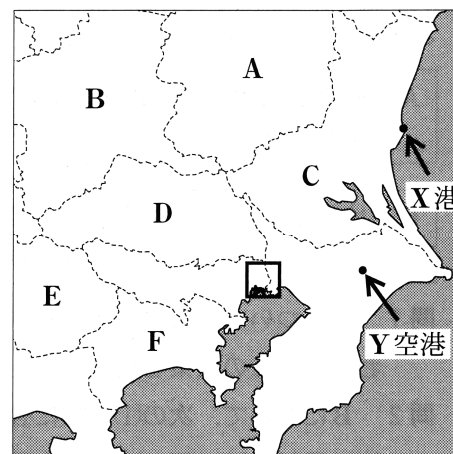
問 1 略地図の地域に広がる台地は、富士山などの火山灰が堆積した赤土におおわれている。この赤土を何というか、書きなさい。

問 2 次の a, b の文は、略地図の X 港, Y 空港について述べたものである。それぞれの文について、正しいものには○を、誤っているものには×を書きなさい。

a 北関東工業地域で工業出荷額が最大であるのは化学工業であり、X 港からの輸出が増加している。

b 輸出と輸入を合わせた貿易額は、日本の港や空港の中では、Y 空港が最大である。

略地図



問 3 資料 1 は、略地図の A 県で行われているいちごの生産方法について述べたものである。出荷時期をこのようにずらす栽培方法を何というか、書きなさい。

資料 1

A 県では、いちごをクリスマスに合わせて出荷するために、夏から高原や冷房のある施設で苗を育て始め、秋にビニールハウス内に移して、照明をあてて栽培する。

<参考>いちごは露地栽培では、夏ごろから苗を育て翌年の春に実を収穫する。

(A 県ホームページより作成)

問 4 資料 2 は、略地図の B～D 県の発電量の内訳を示したものである。ア, ウにあてはまる県はどれか、B～D からそれぞれ 1 つ選び、その符号を書きなさい。また、その県名を書きなさい。

資料 2

(2018 年度) (百万 kWh)

県	火力	水力	太陽光	その他
ア	33,948	68	869	168
イ	609	256	44	1
ウ	170	3,861	236	0

(「データで見る県勢」より作成)

問 5 資料 3 は、略地図の E 県と F 県の夜間人口 100 に対する昼間人口の割合を示したものである。Ⅱにあてはまる県は E, F のどちらか、その符号を書きなさい。また、そのように判断した理由を、その県の人の移動に着目して書きなさい。

資料 3

(2015 年)

県	Ⅰ	Ⅱ
割合	99.2	91.2

(「データで見る県勢」より作成)

問6 資料4は、略地図の  の地域に位置するZ区が作成した水害ハザードマップで呼びかけている内容である。Z区が資料4の下線部のような呼びかけを行うのはなぜだと考えられるか、資料4、資料5、資料6を関連づけて書きなさい。

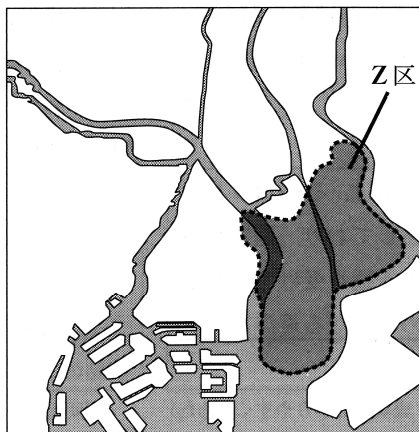
資料4

巨大台風や大雨が予測されるとき、どうすればいいでしょうか。

●区内にとどまるのは危険です！

頑丈なビルやマンションなどの高いところにいたとしても、Z区やその周辺地域の外へ避難しましょう。

(Z区ホームページより作成)

資料5  の地域におけるZ区の位置資料6  の地域の海面からの高さ(m)

(資料5、資料6は東京都建設局ホームページより作成)

[解答欄]

問 1	関東ローム			
問 2	a	×	b	○
問 3	促成栽培			
問 4		符号	県名	
	ア	C	茨城	県
	ウ	B	群馬	県
問 5	符号	F		
	理由	(例) F 県は、東京に通勤・通学する人が多く、昼間人口が少なくなるから。		
問 6	(例) Z 区は海面より低い地域が広く、浸水すると水が引きにくいため、区内の建物の高いところに避難しても、その場に長く取り残されるおそれがあるから。			

[解説]

問 1 関東ロームにおおわれた武蔵野や下総台地は、水が乏しいため畑などに利用されてきたが、人口の増加にともない住宅地や工場用地などが増えてきた。

問 2 a…誤り。化学工業や鉄鋼は原材料を輸入するために港湾がある地域で発展し、機械類は部品や製品の運搬に便利な高速道路沿いに発達している。北関東工業地域の中心は内陸部なので自動車や電気機械が中心。
b…正しい。

問 3 ビニールハウスや温室で野菜を作り、出荷時期を早めることを促成栽培という。大都市に出荷する目的で野菜などをつくる農業を園芸農業という。また園芸農業の中でも、ビニールハウスなどを利用する農業を施設園芸農業という。
資料 1 から、出荷時期を早めていることがわかるので促成栽培が正解。

問 4 ア…火力発電は燃料の搬入に都合の良い沿岸部に設置されるので C の茨城県。ウ…水力発電はダムの水を利用するため内陸部に設置されるので B の群馬県。残ったイは D の埼玉県。

問 5 E は山梨県、F は神奈川県である。これら 2 つの県を比べると、神奈川県の方が、通勤や通学のため県外に行く人が多いので、夜間人口 100 に対する昼間人口の割合は、神奈川県の方が小さいと考えられる。したがってⅡにあてはまるのは F の神奈川県である。

問 6 ハザードマップは、自然災害が発生したときに、どこでどのような災害が起こるかを予測し地図上に示したものである。